

## 一般病棟入院基本料(7対1～15対1) 10年間で14.9万床減少

株式会社日本アルトマーク(以下、日本アルトマーク、東京都港区・代表取締役社長 伊倉雅治)は、病院の入院料に関する調査を実施いたしました。

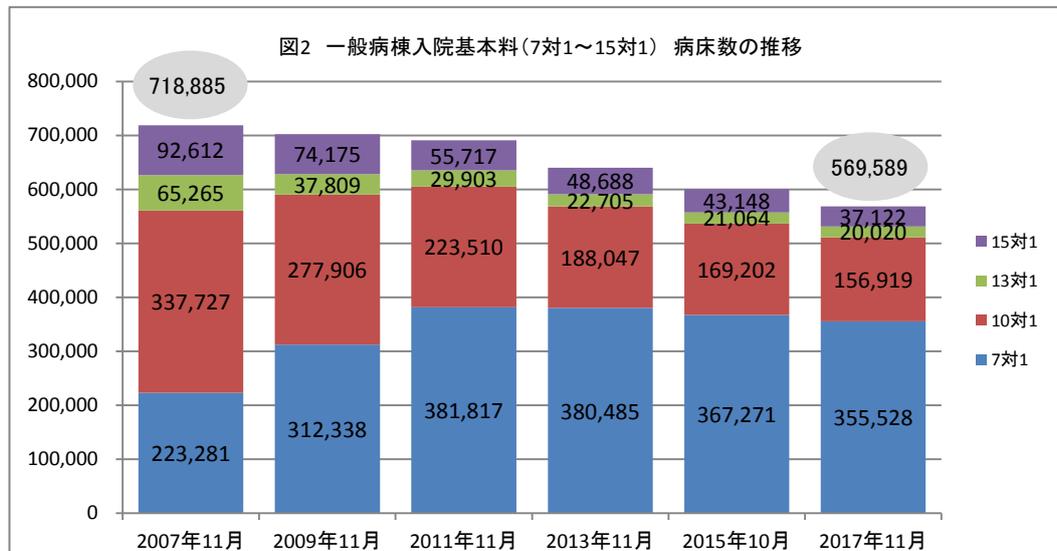
病院の入院基本料は、2018年度診療報酬改定により再編されることが決まりました。一般病棟入院基本料(7対1(以下、一般7対1)から15対1(以下、一般15対1))は急性期一般入院基本料と地域一般入院基本料の2つに分けられ、入院医療の機能分化が図られます。2018年度診療報酬改定に向けて見直しが注目されていた一般7対1は、2006年度診療報酬改定時に創設されて以降増加が続き、ピーク時には38万床を超えました。数回の診療報酬改定で行われた算定要件の厳格化や一般10対1との病棟群単位の届出制度などを経て、今春の改定で一般10対1と統合して急性期一般入院基本料となる予定です。

日本アルトマークが定期的に行っている病院調査の結果をもとに、一般7対1から一般15対1について、これまでの推移と現在の状況をまとめました。

### ◇一般7対1から一般15対1 10年間で433病院149,296床減少

2017年11月時点で特定機能病院等を除く一般7対1から一般15対1を算定していた病院の合計は、4,850病院569,589床であった。5,283病院718,885床であった10年前の2007年11月時点と比較すると、433病院149,296床減少した。大きな変化があった項目を見ると、一般7対1は132,247床増え、一般10対1は180,808床減っていた。(図1、図2)





※一般7対1、一般10対1 病棟郡単位の届出の場合  
 図1 病院数・・・一般7対1でカウント  
 図2 病床数・・・一般7対1、一般10対1それぞれカウント

#### ◇一般10対1の約半数が一般7対1へ

2007年11月時点で特定機能病院等を除く一般7対1から一般15対1を算定していた病院は、5,283病院718,885床であった。2017年11月までの10年間に変化した病床数を見ると、一般10対1から一般7対1への転換が最も多く171,551床であり、2007年11月時点で一般10対1であった337,727床の約半数を占めていた。(表1)

表1 2007年11月時点から2017年11月時点 病床の変化

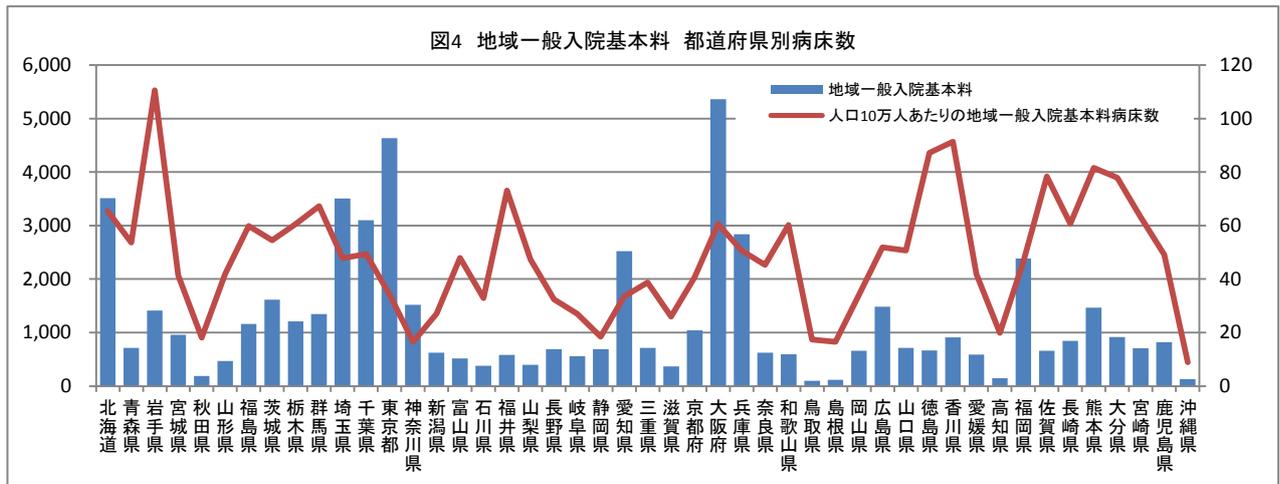
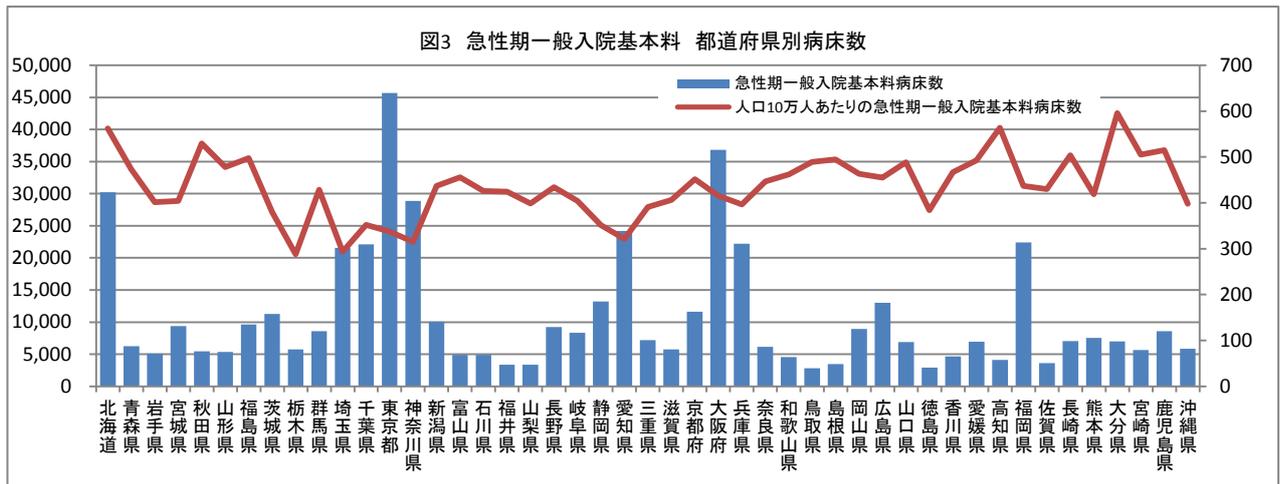
2007年11月		2017年11月							
5,283病院718,885床		一般7対1	一般10対1	一般13対1	一般15対1	地域包括ケア	回復期リハ	その他	削除
一般7対1	223,281	161,516	14,029	135	165	393	346	38,345	8,352
一般10対1	337,727	171,551	81,235	1,114	750	1,535	581	62,431	18,530
一般13対1	65,265	5,585	32,236	6,488	1,314	1,002	1,128	12,097	5,415
一般15対1	92,612	1,592	17,095	10,665	31,127	1,332	1,571	17,752	11,478

※その他 … 障害者病棟4,029床、特定機能病院2,127床、専門病院1,553床など  
 ※削除 … 閉院や合併などで調査対象外となった病院の病床数

#### ◇人口10万人あたりの地域一般入院基本料病床数 都道府県差最大12倍

2017年11月時点で特定機能病院等を除く一般7対1から一般15対1を算定していた病院は4,850施設569,589床であり、一般7対1および一般10対1を2018年度診療報酬改定で再編・統合する急性期一般入院基本料として集計すると3,704病院512,447床、一般13対1および一般15対1を地域一般入院基本料として集計すると1,146病院57,142床であった。

人口10万人あたりの病床数を都道府県別に見ると、急性期一般入院基本料の全国平均は435.4床であり、最も多い都道府県は大分595.7床、最も少ない都道府県は栃木287.8床であった。地域一般入院基本料の全国平均は48.1床であり、急性期一般入院基本料と比較すると1/10程度である。また、地域一般入院基本料の人口10万人あたりの病床数は、急性期一般入院基本料に比べ都道府県のばらつきが大きく、最も多い岩手110.5床と最も少ない沖縄8.9床との間に約12倍の差があった。(図3、図4)



人口:総務省統計局「平成29年住民基本台帳年齢階級別人口(都道府県別)」より集計

[ 図1、図2、図3、図4、表1 ]

出典:(株)日本アルトマーク「病院の施設基準算定状況全国調査」

[ 参考 1 ]

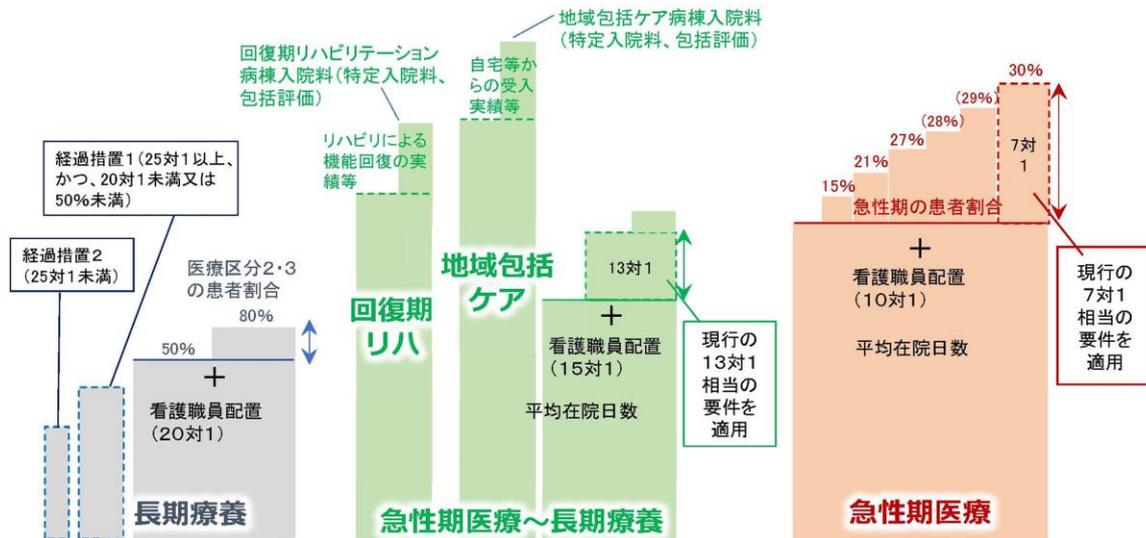
項目	看護師比率	平均在院日数	基本点数
一般病棟 7 対 1 入院基本料	70%以上	18 日以内	1,591 点
一般病棟 10 対 1 入院基本料	70%以上	21 日以内	1,332 点
一般病棟 13 対 1 入院基本料	70%以上	24 日以内	1,121 点
一般病棟 15 対 1 入院基本料	40%以上	60 日以内	960 点

(2016 年度診療報酬改定時点)

[ 参考 2 ]

### 新たな入院医療の評価体系と主な機能(イメージ)

入院医療評価体系について、基本的な医療の評価部分と診療実績に応じた段階的な評価部分との二つの評価を組み合わせた新たな評価体系に再編・統合する。なお、新たな評価体系となる入院料は、急性期医療、急性期医療～長期療養、長期療養の機能に大別される。



療養病棟入院基本料 (2 0 対 1、2 5 対 1) を再編・統合

一般病棟入院基本料 (1 3 対 1、1 5 対 1) 等を再編・統合

一般病棟入院基本料 (7 対 1、1 0 対 1) を再編・統合

※ 特定機能病院、専門病院、精神病棟、結核病棟、障害者施設等、その他の特定入院料等については、特定の機能や対象患者を想定した入院料のため、上記には含めていない。

出典: 中医協 総-1 参考 1 (30.2.7)

お取り上げくださる場合は、掲載誌を一部下記宛にご郵送いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社日本アルトマーク

MDB 事業部 MDB オペレーション部 白井・竹下

〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 33 番地 1 号 森永プラザビル本館 15 階

TEL. 03-6809-6251(平日 9:00~17:30) FAX. 03-3453-4140

<http://www.ultmarc.co.jp>

【会社概要】

会社名	株式会社日本アルトマーク
代表者	代表取締役社長 伊倉 雅治
所在地	東京都港区芝 5 丁目 33 番地 1 号 森永プラザビル本館 15 階
資本金	5,550 万円
設立	1962 年 3 月
従業員数	121 名(2017 年 7 月 1 日現在)
事業内容	メディカルデータベース(MDB)事業